

平成23年度前期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号2

千葉県立千葉女子高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

学習成績が優秀で、中学校生活全般にわたり特に積極的な取組を行った者。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の得点の合計により評価する。
(2) 調査書	評価項目の各評価を基にして数値等で評価する。
(3) 面接	5人による集団面接。面接官3人。A、Bの2段階で評価する。
(4) 志願理由書	記載内容について評価する。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の合計得点	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。 評定1の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	①皆勤については評価する。 ②各学年において20日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数を評価する。○が2個以下の場合は審議の対象とする。
エ 特別活動の記録 及び部活動等の記録	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については評価する。

(3) 面接

評価項目	評価基準
面接の内容等	面接官3人で5名の受検生に約15分間の集団面接を実施し、各面接官がa～cの3段階で評価する。さらに総合評価としてA、Bの2段階で評価する。評価Bは審議の対象とする。

(4) 志願理由書

評 価 項 目	評 価 基 準
志願理由等	記載事項を参考に総合的に評価する。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

学力検査の得点，調査書の得点の総合計により順位を付け，本校の「期待する生徒像」に基づき，「調査書」「面接」「志願理由書」等を慎重に審議しながら総合的に判定して，入学許可候補者を内定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には，選抜のための資料に加え，提出されたことにより，不利益な取扱をすることがないように十分に留意する。

5 その他

過年度生については，個人的に話を聞く機会を設ける。

平成23年度前期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号2

千葉県立千葉女子高等学校 全日制の課程 家政科

1 期待する生徒像

学習成績が優秀で、中学校生活全般にわたり特に積極的な取組を行った者。
家政科を希望する動機が適切で、家庭科の学習に興味や関心がある者。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の得点の合計により評価する。
(2) 調査書	評価項目の各評価を基にして数値等で評価する。
(3) 適性検査	評価項目ごとに数値化し合計点で評価する。
(4) 志願理由書	記載内容について評価する。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の合計得点	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。 評定1の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	①皆勤については評価する。 ②各学年において20日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数を評価する。○が2個以下の場合は審議の対象とする。
エ 特別活動の記録 及び部活動等の記録	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については評価する。

(3) 適性検査

一斉形式による適性検査（家庭科に関する実技を伴う検査）を30分実施し、
60点満点で評価する。

(4) 志願理由書

評価項目	評価基準
志願理由等	記載事項を参考に総合的に評価する。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

学力検査の得点，適性検査の得点，調査書の得点の総合計により順位を付け，本校の「期待する生徒像」に基づき，「調査書」「志願理由書」等を慎重に審議しながら総合的に判定して，入学許可候補者を内定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には，選抜のための資料に加え，提出されたことにより，不利益な取扱いをすることがないように十分に留意する。

5 その他

過年度生については、個人的に話を聞く機会を設ける。

平成23年度後期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号2

千葉県立千葉女子高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の得点の合計により評価する。
(2) 調査書	評価項目の各評価を基にして数値等で評価する。
(3) 面接	5人による集団面接。面接官3人。A、Bの2段階で評価する。

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の合計得点	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。 評定1の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	①皆勤については評価する。 ②各学年において20日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数を評価する。○が2個以下の場合は審議の対象とする。
エ 特別活動の記録 及び部活動等の記録	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については評価する。

(3) 面接

評価項目	評価基準
面接の内容等	面接官3人で5名の受検生に約15分間の集団面接を実施し、各面接官がa～cの3段階で評価する。さらに総合評価としてA、Bの2段階で評価する。評価Bは審議の対象とする。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

公立高等学校入学者選抜実施要項に従い、A組となる者は入学許可候補者とする。A組に属さない者はB組とし、すべて審議の対象とする。順位付けには算式2を利用し、面接検査の結果を資料として総合的に判定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより、不利益な取扱いをすることがないように十分に留意する。

4 その他

過年度生については、個人的に話を聞く機会を設ける。

平成23年度後期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号2

千葉県立千葉女子高等学校 全日制の課程 家政科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の得点の合計により評価する。
(2) 調査書	評価項目の各評価を基にして数値等で評価する。
(3) 面接	5人による集団面接。面接官3人。A、Bの2段階で評価する。

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の合計得点	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。 評定1の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	①皆勤については評価する。 ②各学年において20日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数を評価する。○が2個以下の場合は審議の対象とする。
エ 特別活動の記録 及び部活動等の記録	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については評価する。

(3) 面接

評価項目	評価基準
面接の内容等	面接官3人で5名の受検生に約15分間の集団面接を実施し、各面接官がa～cの3段階で評価する。さらに総合評価としてA、Bの2段階で評価する。評価Bは審議の対象とする。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

公立高等学校入学者選抜実施要項に従い、A組となる者は入学許可候補者とする。A組に属さない者はB組とし、すべて審議の対象とする。順位付けには算式2を利用し、面接検査の結果を資料として総合的に判定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより、不利益な取扱いをすることがないように十分に留意する。

4 その他

過年度生については、個人的に話を聞く機会を設ける。